

7月 あさがお

詞 /五十野惇

- ★ あさがおの はな プープー ふいた
なかなか ならない ラッパ
- ★ あさがおの はな すばすば すった
とっても あまーい ジュース



学生のプログコメントから

たしかに、あさがおってラッパみたいですね。あさがおみたいにいろんな色のラッパがあったら、楽しそうですね。

あさがおのうたを読んで、あさがおが吸うと甘いのが出てくると初めて知りました。あさがおって小さい頃折り紙でよく作ったなあって思い出しました。折り紙を作ってあげたりしたいなあ。と思いました。

この歌は実際に『プープー』のところは吹いてみて、『すばすば』のところはすってみたら楽しいし、花の蜜はおいしいってことがわかるから、ぜひ子供たちと歌いながらやってみたいと思いました。

詩に2つの遊び方以外に、押し花にしたり、あさがおをつぶして水にいれて、「あさがおジュース」を作ったりして、子供と楽しみたいと思いました。

朝顔を吹くとラッパになることや、吸うと甘い蜜が出ること。両方とも知らなかったのが驚きました。もうひとつ遊びを提案するなら、咲き終わった後の種を集めることでしょうか。お花も綺麗ですけど、種を取るのが楽しかったのを未だに覚えています。

それに、詩をよんで確かにあさがおってラップみたいだなと思いました。吹いても音はでないけど、吸うと甘い蜜がでる、とても可愛らしい表現だと思いました。 今回の歌では、それ以外の朝顔の花の楽しみ方を知ることが出来ました。

7月 かぶとむし と くわがたむし 詞 /五十野惇

★ かおの あご のびて のびて つの いっぱん
かぶとむし
はぶらしに にた くちで きの しるを なめるよ
シュワッシュー

つのが あるのは おす
つのが ないのは めす



★ かおの あご のびて のびて つの にほん
くわがたむし
はぶらしに にた くちで きの しるを なめるよ
シュワッシュー

おっきな つのは おす
ちっちゃな つのは めす



学生のプログコメントから

「かぶとむし くわがたむし」を読んで、昔よく虫かごとあみを持ってカブトムシやクワガタを捕りに行ったことを思い出しました。そして、もうすぐ夏なのだなと感じました。はぶらしに似た口や、カブトムシとクワガタ、オスとメスの違い、見分け方を詩にかいて、子どもにはわかりやすいと思いますし、楽しく学べますね。また、「シュワッシュー」という表現が面白いですね。気に入りました。はぶらしという日常的な物に例えるというのも子どもに理解してもらいやすくていいと思いました。

私がこの詩を子どもたちに使うとしたら、まず歌いながら写真などで特徴などをよくみんなで見ます。そして、そのあと「かぶとむし組」と「くわがたむし組」にわかれてぶつかったらじゃんけんして、負けたら勝った人の後ろに付き、どんどん長くなって先頭になった人が勝ちというゲームは楽しいんじゃないかなと思いました。

子どもにとってかぶとむしとくわがたの違いはなかなかわからないと思います。実際私も全く見分けがつきませんでした。このお話しはそれぞれの特徴が書かれており、とてもわかりやすいです。ぜひ、実物を見せながら聞かせてあげるともっと分かってくれて、興味を示してくれると思います。

かぶとむしって小さな子からしてみたら、すごい強そうな虫のイメージがあるような気がします。このお話は、いろいろジェスチャーを交えながらやると楽しくできそうだなと思いました。このお話をした後に森などに行って探したりすると『これは、かぶとむしのメスだ!!!』とか子供たちが自ら発見できるのではないかなと思いました。

7月 きりぎりす 詞 /五十野惇

- ★ どこからか どこからか ちいさな いのちの こえ
きこえる
ちょん ぎーす
だれを よぶの きりぎりす
- ★ あれは まだ あれは まだ ともだちの いない こえ
さびしそう
ちょん ぎーす
だれを まつの きりぎりす



学生のプログコメントから

私がこの歌をうたうなら、一番と二番の「ちょん ぎーす」に変化をつけたいです。一番は元気そうに、二番は寂しさが伝わるように歌いたいです。歌い終わったあとに、ちょっとした遊びもしたいです。私が子供たちに「楽しいとき！！」と言ったら、子供たちは楽しそうに、「ちょん ぎーす」と言うのです。私が言ったきりぎりすの気持ちを、子供たちが鳴き声で表現するという簡単なゲームを思いつきました。

私はこの唄で『ちいさな いのちの こえ』と言うのが気に入りました。「ちょん ぎーす」の響きはおもしろくて好きです。きりぎりすは小さい頃はよく捕まえた思い出があります。声を聞くとなんだか懐かしい気分になります。

『ともだちの いない こえ』というのはとても淋しい感じ。どういう気持ちで鳴いているのか思わず考えたりします。しかし、私は毎年…寂しい声だと感じます。

なんだか、孤独と言うかいじめられているような感じだと思いました。『ともだちを あつめる こえ』とかもっと明かるい唄がいいと思います。

7月 ひまわり

詞 /五十野惇



- ★ 1 2 3 4
なつが くる
おひさま こんにちは せを のばし
あははは あははは わらってる
- ★ 1 2 3 4
のっぽさん
1 2 3 4
ひまわりさん

学生のブログコメントから

すっごく元気な詩だと思いました☆ 歌うたびに元気になれるそうです！！この詩は、子どもたちに元気に踊ってほしいと思いました。

体形は大きな輪をつくります。

「1 2 3 4」は、手を振りながら準備！

「なつがくる」のところは、ジャンプジャンプ！

「おひさま こんにちは」で周りの子と挨拶！

「せを のばし」は、ぐーんと背伸び！

「あははは あははは わらってる」は、手を叩きながらまわります！

そして「1 2 3 4」で小さくしゃがみ・・・

「のっぽさん」で元気よく大きくジャンプします☆

「ひまわりさん」自由に。

夏でも元気よく、ひまわりみたいになにいつも笑っていて欲しいです♪

のっぽさんという表現はひまわりにぴったりですね。小さい頃は自分より大きなひまわりが大好きでした。今は私の方が大きいですがやっぱり大好きです。

夏といえば！というほど夏にぴったり過ぎる花ですね。あんなに背が高く、大きな花を咲かせるのは、全体からみて珍しいほうだと思います。だから私たちに強烈な印象を与えるし、そしてなにより暑さを吹き飛ばしてくれそうなキュートさです。

この詩はそんなひまわりのダイナミックな可愛らしさが現れていて、歌っていると陽気な気分になれそうです。また「1 2 3 4 なつがくる」なんて、子どもと一緒に踊れそうですね。私はこんな夏らしくて陽気な歌が大好きです。

とっても楽しい詩だと思います☆みんなで踊りながら歌ったのしいと思いました。たとえば、まずひまわり役と太陽役に別れます。「1 2 3 4 なつがくる」はみんなで歌います。

「おひさま こんにちは」はひまわり役の子たちが太陽役の子たちに向かってこんにちはをします。「あははは あははは わらってる」はみんなで手をつないだりして歌います。

「1 2 3 4 のっぽさん」はみんなで手を上にあげたり、ジャンプしても楽しいと思います。とにかく、みんなで思いっきり体を動かして表現したいです。

ひまわりといえば、元気なイメージがあるので、とにかく子どもたちと体を動かしてこの歌を歌いたいと思います。最初は皆しゃがんでいます。そして1の子2の子3の子4の子とわけて、私が「1！」と言ったら、1の子達が思いっきりジャンプをして、「2！」と言ったら、2の子が思いっきりジャンプをして……。このように自分の数字が呼ばれたらジャンプをするようにします。そして、「あはは」のところはみんなでお腹をかかえて笑います。こんなふうに歌えばとても楽しくなるんじゃないかなと思いました。

みんなで数を数えて

なつがくる 1回転

せおのぼし ぐーっとせのび

あははは あははは おなかにてを当てる

数を数えて つまさきだち

のような感じでみんなで踊れそうです。

7月 **せみ** 詞 /五十野惇

- (1) せみの おなかは がっきだよ
だって おなかの ところに こえを だす しかけが あるんだもの
- (2) せみの くちは ストローだよ
だって きの みきに さして きの しるを すうんだもの

7月 **みんなみんぜみ** 詞 /五十野惇

- ★ ほんとはね
ないて いるのでは ないの
おなか ふるわせて いるの
みーん みーん みんなみんぜみ
- ★ きみの おなか ふるわせて ごらん

7月 **ひぐらし** 詞 /五十野惇

この ひぐらし ゆうぐれに なく
かな かな かな かな
もう あそびは おしまい

7月 **せみの なきごえ** 詞 /五十野惇

みん みん みん みん なーに？
みんなみんぜみ みん

じり じり じり じり なーに？
あぶらぜみ じり

かな かな かな かな なーに？
ひぐらし かな

にい にい にい にい なーに？
にいにいぜみ

つくつくほーし つくつくほーし
つくつくほーし つくつくほーし
なーに？
つくつくほーし
つくつくほーし

しゃん しゃん しゃん しゃん なーに？
くまぜみ しゃん



学生のプログコメントから

リズムがとても良いです。子ども達もきっとノリノリになってくれそうです。この歌は子ども達にせみの種類を教えることができる、遊びと同時に勉強になる歌ですね。

この詩を覚えているだけで、いろいろな種類のせみの名前を知ることができていいなと思いました。私も知らないせみの名前もあってすごいなと思いました。なーに？と問いかける側と、答える側に分かれるともっと楽しく覚えられると思いました。この詩を覚えることで、虫に興味を抱いてくれたらいいと思いました。

小さい頃わななぞが好きでした♪この歌わ色々な昆虫の種類が覚えられるし、なぞなぞが好きな子供たちは楽しく学ぶ事が出来るのでとてもいいと思います！クラスを4つにわけてそれぞれせみの名前をつけてチームで鳴き声をつかったゲームをしたいと思いました！

この歌は、同じ言葉を何度も繰り返しているなので、たくさんのせみの種類が覚えられると思いました。なので、みんな・・・などは、子どもたちにいってもらい、なーに？を私が、耳に手を添えながら聞くと、大きい声で「みんなぜみ!!!」と、答えてほしいです。

この詩を読んで、頭の中でせみが「みんな」鳴いています!!詩から、たくさんの種類のせみの「名前と鳴き方」を知ることが出来るので、凄い詩だなと思いました。まずは、この詩を読んで「みんな、鳴くせみは、どんな形だー？」と子供たちに聞いて、想像させます。それから、図鑑でせみの写真を見ながら、もう一度この詩を読んだらさらに楽しいと思いました。そして、実際に外に出て、「あのせみは何ぜみだー？」とせみの鳴き声で、子供たちとあってっこゲームをしたいと思いました。

この「せみのなきごえ」という詩は、すごくリズムカルで楽しいですね同じ単語（“みんな”や“じり”など）が何回も連続で出てくるので、子ども達もみんなで明るく楽しく言えそうです!!

私が考えた指導案は、子ども達に最初の“みんな みんな みんな”という問題の所を言ってもらい、先生が“なーに？”を言います。そして、また子供たちが“みんなぜみ みんな”という答えの所を言います。クイズみたいな感じで楽しいと思いますまた少し難しいかもしれませんが、先生が図鑑でせみの絵を見せて、子供たちに“このせみの名前はなんだ？”と考えてもらい、子供たち同士で“このせみだ！”と思ったせみの問題と答えの詩を読み合うのもいいなあとと思いました

あと“みんなぜみグループ”“あぶらぜみグループ”など作り、自分達のせみの時に立って読んで、他のせみの時は“なーに？”を言ったりしてみんなで楽しめるなと思いました
これだけ多くのせみの種類を楽しく知れる方法はなかなか無いと思うので良いと思います
す!!クイズみたいに楽しく学べて、ここからせみや昆虫に対して興味がわいたらいいなと感じました。